# 地方都市における中心市街地の近年の人口回帰の実態

東京都市大学 学生会員 〇前田 元史 正会員 中村 隆司

### 1. 研究の背景と目的

我が国では、1990年代より地方都市における中心市街地の衰退が問題となっている。その根本的な原因は、 道路網整備等により人口が郊外に流出し、同時に商業業務等諸機能も郊外へと移転した為である。こうした中で、近年、コンパクトな市街地を形成することにより、中心市街地の活性化を図り中心市街地の人口減少を食い止めようとする施策が見られる。一方で、近年中心市街地に人口が回帰している都市も見受けられる。そこで本研究では、中心市街地での人口回帰の実態を確認した上でその継続可能性と課題を分析するものである。

### 2. 調査対象都市と中心市街地の範囲

調査対象都市は,2010年3月時に中心市街地活性化基本計画に認定されている100都市のうち,人口10万人以上40万人未満で3大都市圏外の表-1に示した34都市とし,中心市街地の範囲については,それぞれの中心市街地活性化法基本計画で設定している範囲とした.

#### 3. 中心市街地の人口動向

町丁字毎の平成12年(2000年)及び平成17年(2005年)の国勢調査データを元に中心市街地に該当する町丁字を特定し集計した結果を表-1に示した。この結果から中心市街地における人口が増加している都市は、帯広市、盛岡市、福島市、長岡市、藤枝市、山口市、西条市、久留米市、別府市、八代市となる。また、相対的に実質的な市街地であるDIDの中で中心市街地の人口比率(中心市街地/DID人口)が増加している都市は、帯広市、青森市、盛岡市、長岡市、藤枝市、山口市、別府市、八代市が挙げられる。但し、この点については、帯広市や青森市、和歌山市は元々中心市街地の人口比率は1%台であり、そうした状況の中で0.1%程度の値で区分する事の問題も孕んでいる。このような問題があるとしても、中心市街地で人口が増加し、そのDIDの人口の中での人口の比率も増えている人口回帰現象が明確な都市としては、両方に該当している、帯広市、青森市、盛岡市、長岡市、藤枝市、山口市、別府市、八代市が挙げられる。

また、中心市街地で人口が減少となったものの減少率が5%に満たない微減の都市としては、山形市、長野市、沼津市、鳥取市、米子市、唐津市、諫早市が挙げられる.

さらに、DID 人口の減少より中心市街地の人口の減少数が少なかった都市は小樽市、弘前市、八戸市、石巻市、富山市、高岡市、福井市、飯田市、和歌山市、松江市、下関市、諫早市である.

これらの観点からだけみれば、34 都市中 26 市が何らかの形で挙げられる事になり、ここで取り上げた 10 -40 万人規模の地方の拠点となっているような地方都市の多くでは中心市街地への人口回帰もしくは人口維持の兆候が現れてきている.

## 4. 中心市街地の人口増加の要因と課題

中心市街地における人口回帰現象が明確な都市として考えられる帯広市,青森市,盛岡市,長岡市,藤枝市,山口市,別府市,八代市の8都市を対象に、中心市街地内のマンションの建設動向を、戸数、発売年、平均価格について図示し、このうち図-1に盛岡市の発売年別マンション立地を示した<sup>(1)</sup>.都市によりマンション立地の特に多かった時期、戸数等に差異はみられたものの、何れの都市も中心市街地へのマンションの立地は進行していると言える。この要因としては、①工場移転、業務施設移転、従業員施設(社宅等)の処分等大規模空地の存在の上に、②表-1に示した通り、中心市街地の地価の大幅な下落により、手頃な価格のマンション供給が可能となったこと、③高齢化の中で中心市街地への潜在的な居住希望が存在する事<sup>1)</sup>が挙げられる。

キーワード 地方都市、中心市街地、人口回帰、マンション立地

連絡先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1丁目28番1号 東京都市大学 TEL03-5707-0104

一方, 近年地方都市のマンション販売価格及び転売価格が下落し再販出来ないという中で空室が増加し新規 マンション建設も停滞しており、また、中心市街地内でマンションへの移住が進んでいるに過ぎないという指 摘もある $^{2}$ 、さらに、表-2に示したように中心市街地では後期高齢者の増加も目立つ、今後、住み替えシステ ムの構築、世代間バランスや地区内バランスの構築維持が必要である.

### 参考文献

- 1) 福岡県のマンション建設動向-建設地が中心地から周辺と拡がる-,福銀調査月報,2006.9
- 2) 熊木雄一・中井検祐, 地方中心市街地のマンション建設が周辺住宅地域に与える影響に関する研究, 2008 補注

表-1 分析対象都市の中心市街地の人口と地価の変化

(1)不動産経済研究所資料を元にしたユー・ディ・エス加工データを使用した.

分析対象34都市の中心市街地等の人口変化

		中心市街地	增減数	市全体人口	增減数	DID人口	增減数	中心市街地人口/DID人口	商業地最高額地点所在地	商業地の地	也価最高額地点価格(円)	地価変動(円)	下落率(%)
帯広市	H12	2250	429	173030	-2450	161127		0.014	帯広市西1条南10丁目1 番2外	H12	310,000	-172,000	-55.48387097
	H17	2679		170580	-2450	154044		0.017		H17	138,000		
小樽市	H12	18712	-1224	150687	-8526	131246	-8275	0.143	小樽市稲穂1丁目46番5	H12	265,000	-133,000	-50.18867925
	H17	17488		142161	-8526	122971	-02/3	0.142		H17	132,000		
青森市	H12	4346		297859		241322				H12	740,000	-400,000	-54.05405405
	H17	4525		311508	13649	237010		0.019		H17	340,000		
弘前市	H12	11007		177086	-3865	125803 _226	-3266		弘前市大字駅前2丁目2 番1外	H12	494,000	-293,000	-59.31174089
	H17	10430		173221	-3000	122537	122537			H17	201,000		
八戸市	H12	6804	-452	241920	2780	169749	169749 166753 -2996			H12	620,000	-369,000	-59.51612903
	H17	6352		244700	2780			0.038		H17	251,000		
盛岡市	H12	10971	396	288843	-1651	230793	-1062		盛岡市大通2丁目13番3 0外	H12	945,000	-386,000	-40.84656085
	H17	11367		287192	1031	229731		0.049		H17	559,000		
石巻市	H12	3669	-483	119818	47506	101723 -4086	0.036	石巻市鋳銭場57番7	H12	178,000	-78.000	-43.82022472	
	H17	3186		167324	47300	97637	4000	0.033		H17	100,000	,5,000	43.02022472
山形市	H12	8553	-407	255369	643		177763 177402 -361		山形市十日町4丁目597 番9外1筆	H12	670,000	-392,000	-58.50746269
ЩЛУПІ	H17	8146		256012	043					H17	278,000		
鶴岡市	H12	11856	-810	100628	41756		60821 -366	0.195	鶴岡市末広町6番14	H12	164,000	-72,000	-43.90243902
Heatern 111	H17	11046		142384	41730			0.183		H17	92,000		
福島市	H12	15181	2 241	291121	-252		182966 186332	0.083	福島市本町27番1外	H12	388,000	-223,000	-57.4742268
	H17	15422		290869	LUL			0.083		H17	165,000		
長岡市	H12	6301	20	193414	42930	123641	-1262	0.051	長岡市大手通1丁目4番3	H12	950,000	-552,000	-58.10526316
	H17	6321	321	236344	42000	122379		0.052		HI/	398,000		
上越市	H12	9293	59 -/34	134751	73331	81780	854	0.114	上越市本町5丁目115番 地	H12	280,000	-116,000	-41.42857143
	H17	8559		208082	, 5551	82634		0.104		H17	164,000		
富山市	H12	23734	-1245	325700	95539	221420		0.107	富山市桜町2丁目1番5	H12	965,000	-550,000	-56.99481865
	H17	22489		421239	55555	218679		0.103		H17	415,000		
		10102		170104		00000			<b>宮田士宮助町宝士田100</b>	1110			

-59.31174089 -59.51612903 40.8465608 -43.82022472 -58.50746269 43.90243902 -57.4742268 -58.10526316 41.42857143 56.99481865 高岡市 -1916 -2758 -285,000 -59.375 3番1外 福井市大手2丁目2002 福井市 -281 -54 -1660 -638.000 -61.34615385 ! {野市南千歳1丁目28 長野市 18400 -61.6666666 上田市 -847 -1688 4881 -256,000 59.81308411 番地ロー1外 飯田市中央通り4丁目51 172,00 252,00 飯田市 -585 1243 -121 000 -48 01587302 沼津市 -643 447 -2736 -396,000 737 藤枝市駅前2丁目7番35 -149,000 藤枝市 1101 4013 156,00 掛川市 -232 37640 1307 掛川市中央2丁目5番9 -61,000 32.97297297 和歌山市 -259 -8372 -302.000 -36.2545018 -10960 531,00 750,00 鳥取市 -82 51301 5215 (H12)710番地(H17) 米子市角盤町1丁目27番 335,00 420,00 米子市 -481 -210,000 松江市 -1890 43987 -2056 -381.000 -52.12038304 51230 -172,000 山口市 171 下関市竹崎町2丁目190# 下関市 -1241 38304 -7276 -645,000 70.49180328 西条市 55261 1280 -82.500 -46.34831461 H12 113371 番地10 H17 95,500 865,00 久留米市 -78,000 唐津市 -301 49619 191 唐津市呉服町1807番1 38.42364532 諫早市 -671 48852 -885 諫早市栄町1番2 -253.000 -60.38186158 166,000 500,000 90 -69,000 -37.5 八代市 0.291 沖縄市胡屋1丁目1390 0.254 番1 沖縄市 -1744 6714 7805 -129,000 -46.57039711

全国MSデータ地図 発売年 (盛岡市) [年] **2,003** - 2.010 - 2,003 - 1,998 A 1,992 7 1,989 -1,992 1.988 以前 ★ 正確なデータなし

図-1 盛岡市マンション立地(発売年)

表-2 中心市街地の年齢階層別人口変化(2000~2005)

分析対象34都市の中心市街地における地価動向

下落率(

年齢階層	15歳未満	15~64歳	65歳以上	65~74歳	75歳以上
青森	-21	52	150	24	126
盛岡	-88	33	150	-35	185
福島	125	-21	137	-194	331
長岡	-46	-82	135	-48	183
藤枝	116	475	445	108	337
山口	27	-57	-22	-85	63
別府	3	67	176	-2	178
八代	-1	-33	47	-59	106